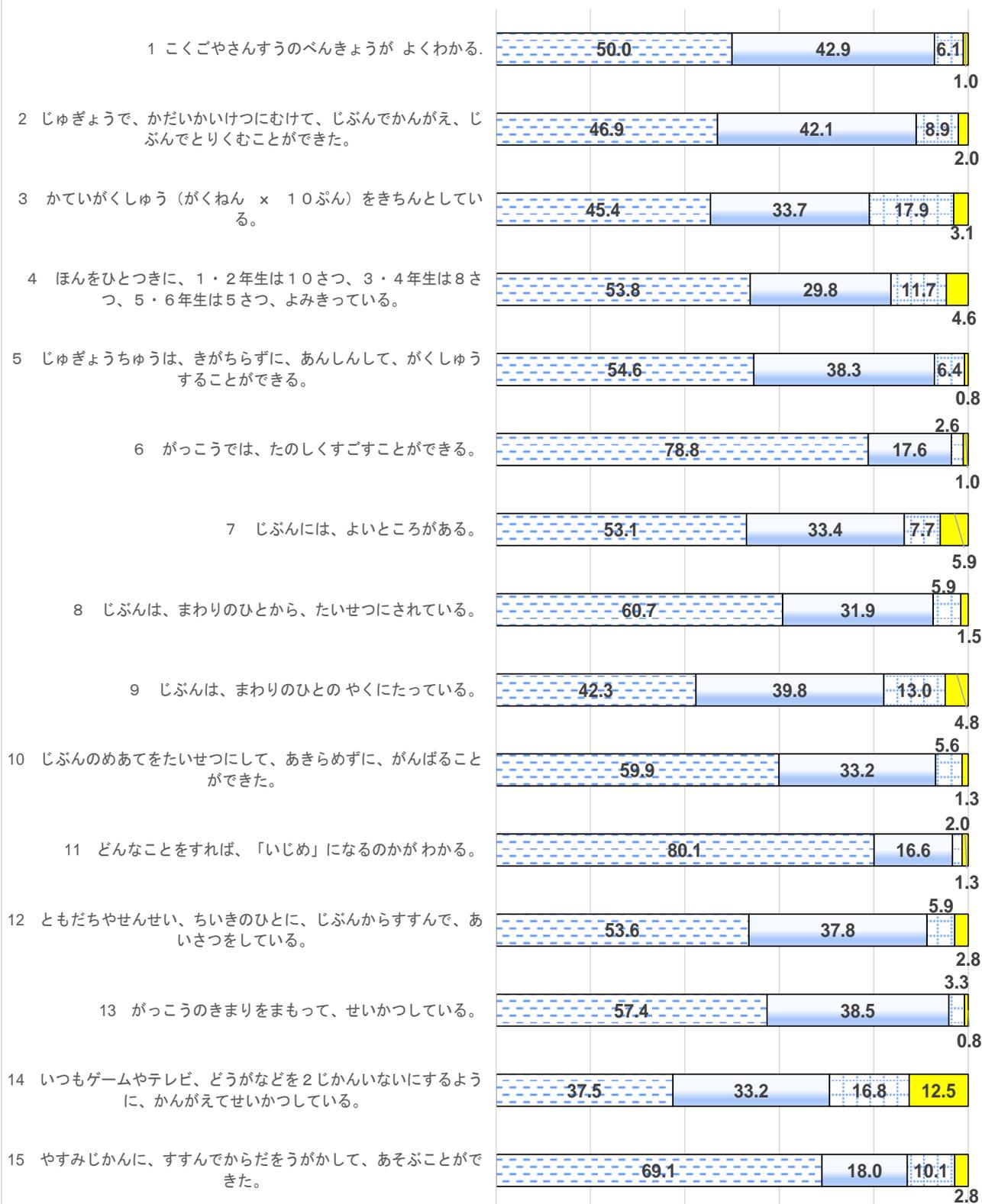


学校評価 児童アンケート（後期）



□ 1 : そうおもう

□ 2 : まあそうおもう

□ 3 : あまりそうおもわない

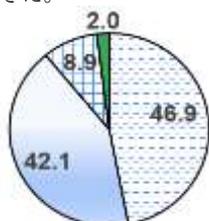
□ 4 : まったくおもわない

重点項目 1 : 学びに向かう力を育てる授業づくり

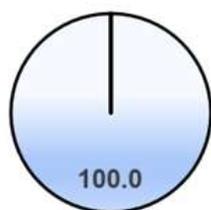
言われたことにはしっかり取り組むことができるが、自分から疑問をもって探求したり、考えたりする態度に欠ける面が見られるという児童の実態を踏まえて、「学びに向かう力を育てる授業づくり」をテーマに掲げ、授業改善に取り組みました。

目指す子どもの姿について職員間で話し合い、「I:できないことも粘り強く考える」「II:課題意識を確実にし、探求する」「III:全員が課題に向き合う」の3つに決めました。

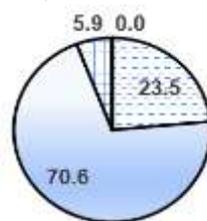
児童アンケート:授業で、課題解決に向けて、自分で考え、自分で取り組むことができた。



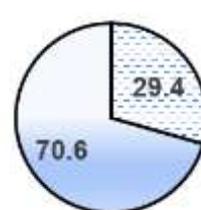
職員アンケート:学級の児童は、目指す姿I(粘り強く考える)を達成している。



職員アンケート:学級の児童は、目指す姿II(課題意識を確実にし探求する)を達成している。



職員アンケート:学級の児童は、目指す姿III(全員が課題に向き合う)を達成している。



【評価】

- 児童の興味関心、追求心を刺激する工夫を授業に組み込むことで、児童の学ぶ意欲が高まり、粘り強く課題に向き合うことができる児童が増えました。
- 前期と比較し、アンケートの結果が向上しました。研究授業等を見合うことを通して、職員の意識が向上し、一人ひとりの授業力を向上させています。
- 児童の意識について見取りの方法や児童自身が単元を通した学びを自覚できるような手立てなど、学びに向かう力をどう見取るかということに課題が残りました。

重点項目 2 : 自分の良さや可能性に気付いて、自分自身を高めようとする子の育成

自己肯定感が低い児童が、学年が上がるにつれて増加する傾向が見られます。この状況は、学校内外の生活の中での問題(不登校・渋り・人間関係のトラブル)につながる「サイン」と捉え、いじめや不登校を未然に防止し、児童が目指す姿に近付いていけるように、実感させたい感情3つと身に付けさせたい力1つを次のように定め、目指す姿の実現に向けて取り組みました。

◎感情:自己肯定感・自己存在感・自己有用感 ◎力:自己指導力

【児童アンケート肯定評価 4月・9月・1月比較】

自己肯定感「自分にはよいところがある」	4月 89% → 9月 85% ↓ → 1月 87% ↓
自己存在感「自分は周りの人から大切にされていると思う」	4月 95% → 9月 89% ↓ → 1月 93% ↓
自己有用感「自分は周りの人に役に立っていると思う」	4月 86% → 9月 83% ↓ → 1月 82% ↓
自己指導力「自分の目標に向かって諦めずに取り組んでいる」	4月 92% → 9月 91% ↓ → 1月 93% ↑

【評価】

- 各担任はアンケート結果と主体的な見取りを総合して、個人・集団への細やかな働き掛けを実施し続けました。また、児童のよいところを積極的に認め、伝えていくことも継続し、児童の3つの感情と1つの力を育むことに努めました。
- 1年間の取組を通して、自己肯定感はゆっくり育つものであり、数値がすぐに上がるものではないことが分かりました。4月と比較して、若干数値が下がった項目が多かったですが、進級等で最も張り切っている4月との比較で若干の数値の減少は、「安定」と評価することができる範囲内であると捉えています。
- 今年度の取組を基盤に次年度は、①関わりの場を広げる、②関わりを「コミュニケーション」に特化したり、縦割り活動の充実を図ったりし会話を楽しむ活動を取り入れる中で、目指す姿を育てていこうと考えています。

保護者自由記述欄

ご意見は、職員で共有し、改善の参考といたします。今回は、学校全体の教育活動に関わるご意見を中心に、簡潔に返答させていただきます。また、前回は回答した内容と同じものについては省かせていただきます。

- ★子どもが大きくなった時に楽しかったなーと思わせるような行事が少なすぎる。
- ★9月の秋葉山ハイキングは場所を改める又は中止した方が良いと思います。昨今、猿・猪や熊の目撃情報が相次ぎ、秋葉山もその対象です。
→授業時数の制限、道徳や外国語の教科化など、授業時数にゆとりがないことをご理解ください。それでも、児童の関わりや主体性を高めたり、楽しい思い出にしたりするため、次年度から、児童会祭りを秋に開催する予定で計画しています。また、秋葉山ハイキングについては、行き先を様々に検討していますが、変更の有無については次年度にお知らせします。
- ★給食を残すことについて、学校である程度統一していただけると助かります。
- ★コロナ前は全校でしていた給食後の歯磨きタイムを復活させてほしいと思っています。
- ★給食は、長期休み明けの授業初日、最終日と出していたいただき、とても助かっています。
→給食は児童に大きな負担を負わせない範囲で、食べる量を自分で調整するなどして、嫌いなものでも少しは食べる方向で全学級で指導していきます。長期休業前後の給食に関しては、給食センターに合わせての給食有無になります。歯磨きに関しては、児童数に対して水道が足りず、昼休みが大幅に減ってしまうため、統一した実施はしません。歯磨き自体はよいことなので、個別で行いたい場合は、ご相談ください。
- ★運動会の際のトイレ使用について。大勢の参加があるにも関わらず体育館のトイレしか使用できないので、女子トイレは大行列です。子どもの中には和式トイレが使えず、保護者に譲っている子も見かけます。
- ★体育館トイレが古く、匂いも気になるので改修できないのかなと思うことが一点。もう一点は運動会時トイレの使用範囲を広げて、子どもだけでも校内のトイレを使えるようにしてほしいです。
- ★体操着をフルネームではなく苗字のみにしてほしいです。苗字のみだと兄弟で回せたりするので。
→体育館トイレの改修は、市に要望していますが、なかなか実現できません。運動会時のトイレ使用については、検討しお知らせします。また、体操着の名札に関しても、検討し、年度初めの案内でお知らせします。
- ★授業中の水分補給を、自由にできるようにしてほしいです。のどの渇きを我慢してしまい、集中力の低下につながると思うため。水筒を机の脇にかけたり乾いたら自由に飲んでもいいような雰囲気、環境を望んでいます。
→授業中に自由な水分補給を認めていないのは、集団生活のルールや学習環境の維持などの理由があります。授業中に自由にした場合、飲んでばかりで学習の集中できない姿も見られます。また、時間や状況を意識して先を見通して行動する力を身に付けさせたいと考えています。ただし、健康面で配慮が必要な場合は、担任にお伝えください。
- ★授業参観時、保護者の私語がうるさく子ども達の発言が聴こえないことが多いように感じます。
→学習参観案内でも、マナーを守っての参観をお願いしています。ご協力をお願いします。
- ★長期休業の図書の本の冊数を自分で決めさせてほしいです。荷物とさらに図書の本があり、毎年大変そうです。
- ★長期休み明けの持ち物がいつもたくさんあります。すぐに使わない物は間に合うように持ってくるようにと、配慮いただいています。初日の荷物についても、見直しをお願いできると子ども達の負担が少し減るように感じます。
→学校では読書の奨励もしています。長期休業中の貸出冊数は、読書を好まない児童にも、長期休業中に読んでもらいたい意味もあります。今後も、児童の荷物が過度に負担にならないように、配慮していきます。
- ★「元気アップ週間」における「メディア」の定義について、例えば「読書などの時間を確保するための娯楽の制限」なのか、あるいは「視力保護のための、ニュース等を含む全てのメディア視聴の制限」なのか、学校側の意図に沿った声掛けをしたいと考えております。
→視力保護、メディア依存の防止、娯楽としてのメディアの制限（就寝時刻を守り規則正しい生活を送るため）、睡眠の質向上等、すべて健全な成長に欠かすことができない要素と捉え、お子さんにお話してください。
- ★最近、車をロータリーの内側にとめて下校を待っている保護者の方がよくいますが危ないと思います。
→学校としては車でのご送迎は禁止していませんが、推奨もしていないため、ルールを定めていません。ロータリーを使用したい保護者の方は、一般道と同じようにご自身で責任をもって確実に完全確保を行ってください。
- ★冬休みの宿題の習字は準備や片付けなど大変なので無くしてくれるとありがたいです。
→校内書き初め展は学習参観に合わせるため、2月上旬に行ってきました。そうすると、書き初めの時期ともずれることになるため、書き初め展をやめ、他の書写の題材と同じように、書写の授業で行うことを検討しています。
- ★隣の小学校は、PTAをこれまでとは異なった形でしているようですが、一小は変わらずに現在の形になるでしょうか？家族形態や働き方等、昔と色々異なるので見直ししていただけると幸いです。
- ★立候補者がいないのは、事情があるからです。強制はやめてほしいです。他校でもPTA廃止があり、一小も保護者にアンケートをとってもらえませんか？PTAは必要と答えた人が多いなら、その人達で活動すればよいです。
→PTA2役の方々にもお伝えします。
- ★保護者として出来る限り学校に関わって行きたい。街探検やプール見守り、授業補助などで参加できることがあることを広めたい。親が自ら楽しんで参加している様子が子ども達にも良い影響を与えるのではないかと考えている。
- ★クラス担任や、わかばの先生からもいつも見てくださり親の私ですら気付かない良さや、学校での様子をいつも教えてくださり本当にありがたいです。
- ★他地域だと簡素化で運動会や文化祭が無くなったりしているが、一小は古きよき伝統は、出きる限り、持続可能な方法を模索して継承してほしいなと思います。
→これ以外にも、学校への温かい応援メールを多くいただきました。ありがとうございました。